

活動報告書



2021年4月→2022年3月

認定NPO法人アンビシャス
沖縄県難病相談支援センター

ACTIVITY REPORT 2021



岸本 隆一（きしもと りゅういち）さん
潰瘍性大腸炎
会報誌NO. 232より

難病患者よ大志を抱け

難病患者の自立を支援します。

An intractable disease patient
be ambitious!

We will help you to become independents
from your sickness.

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

未だ先が見えず長引くコロナ禍で大変厳しい状況の中、アンビシャスでは2021年度も多くの皆様の心温まるご支援により、難病の方々へ難病情報誌の提供や、医療相談会等の支援活動を行うことが出来ました。

また2021年度より小児慢性特定疾病児童等の自立支援事業に新たに取り組み、関係機関への周知と連携強化を図っているところです。

成人・小児を問わずこれまで以上にスタッフのスキル向上に努めるとともに、円滑な支援活動を行う上で沖縄県や各保健所、拠点病院をはじめ、各地域の医療機関、訪問看護ステーション等との連携を更に深め、小児慢性児を含む難病当事者、家族の皆様が安心してご相談が受けられる様、尚一層努めてまいります。

難病を抱えて日々を過ごされている方々の「夢をあきらめさせない」取り組みへ、今後ともお力添えを賜ります様、心よりお願い申し上げます。

最後に2021年度も数多くの方々や団体様に賛助会員としてアンビシャスの活動を支えていただきました。また多くの皆様より多額のご寄付を頂戴しています。

私共が難病支援活動に取り組むに当たり、このように多くの皆様のご支援により円滑な活動運営が可能となっています。ここに改めて心より御礼申し上げます。



認定NPO法人
アンビシャス
理事長

迫 幸治
Yukiharu Sako

President
Non-Profit
Organization
Ambitious



認定NPO法人
アンビシャス
副理事長

照喜名 通
Toru Terukina

Vice-President
Non-Profit
Organization
Ambitious

2021年度（年度）事業報告

（2021年4月1日～2022年3月31日）

事業成果

沖縄県難病相談支援センターとして日々難病患者・家族からの相談を受け、療養や日常生活での悩み、不安等の解消を図るとともに様々なニーズに対応したきめ細やかな相談・支援を心がけた。2021年度はコロナ禍における「相談・支援」の向上を重点的に各種講演会、研修会等を通じ、地域における支援対策や意識レベルの向上を目指した。

1 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業

コロナ禍における「相談・支援」の選択肢として、オンライン相談も新たに設けた。また、オンラインが出来ない場合には感染予防対策を講じ、少人数・短時間での面談とした。

2021年度から開始した小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の充実を図るため、個別支援においては保健所や医療機関など各種関係者と連携支援を実施。当事業の周知として学校関係や小児科などへの周知活動を開始。まだ薬局やその他関係機関への広報には至っておらず次年度も継続していく。

2 障害福祉サービス事業

就労継続支援B型事業所の開設を狙う「沖縄指笛」制作を難病患者に提供することは、コロナ禍で市場の停滞から積極的に実施できていない。また、情報通信技術（ICT）を活用した難病患者への在宅就労支援として会報誌寄稿・制作を小人数ではあるが継続している。利用者の通所ニーズとして「難病患者交流」の場を提供しているが持続可能な事業形態は見いだせておらず、市場等の模索を続ける。

3 難病に関する周知啓発活動

これまで通り、難病情報提供を目的に難病情報誌の毎月発行を継続。更にソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を活用しイベント等の周知と拡散を始めた。また、当団体の紹介カードを作成し関係機関に配布設置を協力依頼していることは次年度も継続していく。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円) (税抜き)
1) 難病患者、家族及び支援者への相談・支援事業	A) 沖縄県委託事業 B) 沖縄県補助事業 C) 沖縄県小慢自立支援 D) 那覇市小慢自立支援 E) 患者会支援等 F) 各種関係機関連携 他	通年	事務局 又は 各自宅等	A) 4名 B) 4名 C) 4名 D) 4名 E) 5名 F) 6名	A) 相談件数 1408件 B) 貸与累計 25件 C) 相談件数 91件 D) 相談件数 26件 E) 広報支援 18団体 F) 医療相談会 36組 看護学生実習 16名 支援者研修 100名 災害自助力 50名 ピアサポート 10名	14,629 (内県委託 8,842)
2) 障害者福祉サービス事業	沖縄指笛製作 会報誌 ICT 寄稿・編集	随時	事務局	3名	製作作業員 2名 寄稿各月 3名+ 2名	3,361
3) 難病及び各事業に関する周知啓発活動事業	広報活動（会報誌発行、WEB、SNS 他） 世界希少難治性疾患の日	通年 2/26	事務局	5名	会報誌発行部数 年間延べ 19,200部 参加申込 112名	4,035
4) その他目的を達成するための事業						

支出額計 22,025

難病相談支援センター事業(県委託)2021年度

「難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）」においても、難病相談支援センターは重要な機関の一つとして位置づけられ、さらなる機能向上が求められている。

「難病の患者が地域で安心して療養しながら暮らし続けることができるよう、難病の患者に対する相談・支援、地域交流活動の促進及び就労支援などを行う拠点施設として設置され、難病の患者等の療養上、日常生活上での悩みや不安の解消、孤立感や喪失感の軽減を図るとともに、難病の患者等のもつ様々なニーズに対応し、医療機関をはじめとする地域の関係機関と連携した支援対策を一層推進するもの」とされている。

沖縄県においては、平成17年からアンビシャスが受託し、難病相談支援事業を行っています。地域連携は、保健所を中心に、労働関係者はハローワークや沖縄産業保健総合支援センターと、医療関係者は医師、訪問看護師やセラピストと連携。また患者・家族会としてはリーダー研修などを実施している。



相談者、相談方法別相談件数（延べ件数）

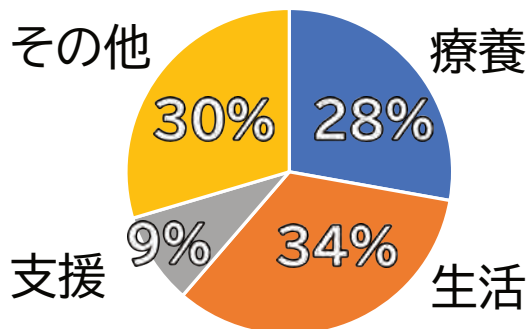
2021年4月1日～2022年3月31日

事項	相談者			計
	患者	家族	その他	
電話	410	184	460	1054
面談	42	28	30	100
メール	62	27	88	177
その他	29	34	14	77
計	543	273	592	1408

*相談件数の「その他」は、支援者、患者会、友人・知人など、患者、家族以外全て。*非常時電源確保相談件数を除く。

相談対象者の相談内容件数（重複カウントあり）

病気の理解	143
治療法の選択の意思決定	69
治療計画	15
医療機関・医師	105
療養場所	12
病状管理	32
栄養・代謝管理	5
医療処置管理	9
薬物療法	3
コミュニケーション方法	183
日常生活動作	5
保健・医療・福祉	46
療養生活全般	287
家族	43
経済	99
学業	3
就労	220
療養生活支援態勢	152
支援方法	38
センター事業関係	566
当事者活動への支援	46
その他	6



主な相談内容

1. センターが実施している機器の貸出、患者家族の交流会などへの参加に関する内容が多く占める。
2. 療養生活における難病を抱えての不安や課題・緊急時の対処など。
3. 就労においては、難病を抱えてどう就労に向き合うかなど
4. 医師や医療機関の選択や主治医とのコミュニケーションなど。

相談内容の詳細はこちらから→

<http://www.ambitious.or.jp/about/kessan/2021/#itaku>



小児慢性特定疾病児童等自立支援事業(委託)

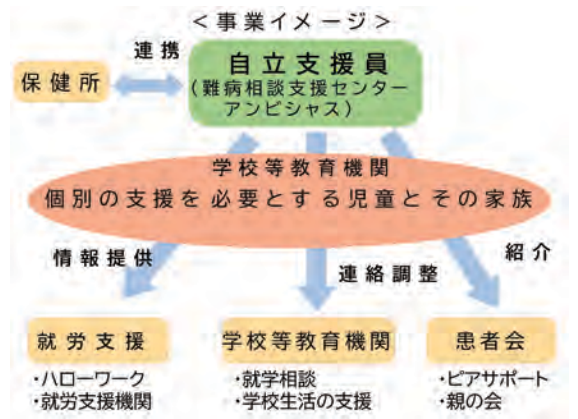
(沖縄県と那覇市から委託を受けている)

目的

小児慢性特定疾病児童等の成人後の自立が円滑に進むよう、小児期から成人期にかけて切れ目のない支援を行う必要がある。このため、小児慢性特定疾病児童等自立支援員による各種支援計画の作成、関係機関との連絡調整等を実施することにより、小児慢性特定疾病児童等の自立促進を図る。

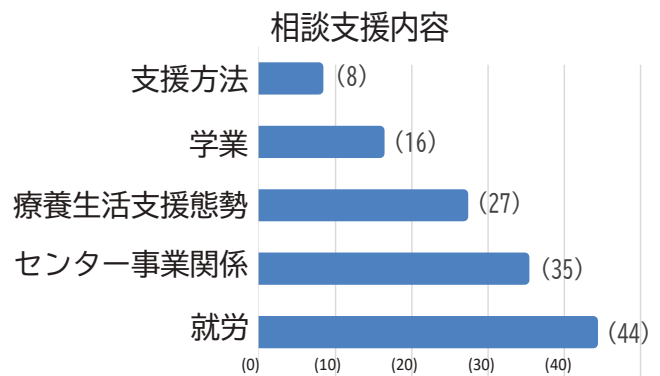
事業対象

- 1 小児慢性特定疾病児童等の健康、教育等の状態に照らして、成人後に、生活の自立や一般就労が可能と考えられる児童等のうち、円滑な自立・就労のために、個別支援を行うことが適当と思われる者を対象とする。
- 2 支援の時期については、必ずしも就職活動中又はその直前の時期に限らず、必要がある場合には、幼少期からの支援を実施する。
- 3 障害者総合支援法等の障害者福祉施策や発達障害者支援法に基づく発達障害者支援施策等による支援を行うことが適当な者については、まずはそれらによる対策を優先させる。



年齢別・相談方法別相談件数 (2021年度) 県委託分のみ

事項	年齢区分					計
	11歳以下	12-14	15-17	18歳以上	不明	
電話相談	1	5	0	11	56	73
面談	0	1	0	0	3	4
その他	0	0	1	1	12	14
計	1	6	1	12	71	91



【講演会・研修会等】

第4回小児慢性特定疾病医療講演会「慢性疾患をのりこえていく子どものために～自立支援から移行期支援にむけて～」10/27、11/4第10回自立支援研修会など 合計14回

【関係機関との連絡調整等】

12月24日 那覇高等学校訪問 情報交換会

【周知広報】

事業開始にあたり、各種関係機関への周知を実施

設置場所

1. 県内高等学校(公立(全日/定時)・私立):計80校
2. 医療機関(病院・クリニック): 5施設(+診察室3)計8か所
3. 保健所・本庁ロビー: 7か所



設置イメージ

案内カード→



本事業の詳細はこちらから↓



<http://www.ambitious.or.jp/syouni/>

在宅療養者非常時電源確保事業(県補助事業)

目的

在宅において人工呼吸療法を受けている患者（以下「在宅療養患者」という。）の停電時等における安全確保のため、県は在宅療養患者に対する人工呼吸療法を実施する医療機関等に対し、在宅療養患者に無償で貸与する予備電源等の物品の購入に要する経費について補助を行い、緊急時における在宅療養患者の安全及び安心をより確実なものとすることを目的とする。医療機関・保健所と連携し、アンビシャスが説明・設置を実施。

背景

2011年に起きた東日本大震災に伴う計画停電により人工呼吸器を装着した患者が困難をきたした。また、同年沖縄県内では巨大台風接近に伴い、人工呼吸器を装着した大人や子どもの安心を支えるため本事業が実施された。

意義

他府県でみられる貸与事業は、単に発電機等の貸与機器引き渡しだけの実施で終わるが、沖縄県では機器の選定における利点やリスクを事前説明。設置後もより安全に機器使用をし、より安心な療養生活を支える。

また、利用者への説明は保健所と連携し、レスキューファイル・家具転倒防止、備蓄など防災知識の向上を目指している。成人・小児のバッテリー等（発電機含む）貸与事業を行う中で、災害時の対応等をきめ細かく啓発することにより、難病相談支援センターとして当事者や支援者、行政からの信頼感が増してきている。

2021年度の予算と執行件数

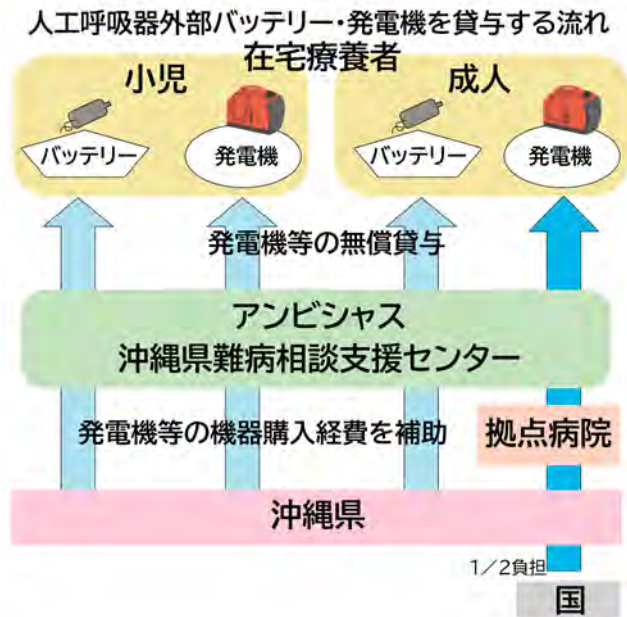
対象	予算	申請者		確定	
		人数	件数	人数	件数
小児	2,304,000	23	40	11	16
成人	1,444,000	10	10	9	9

(小児)：小児慢性特定疾病受給者、(成人)：指定難病受給者

課題

貸与後、運用・保守点検は本来、利用者自身で管理すべきだが、定期点検できずに故障したケース、機器の耐用年数経過で稼働しないケースが発生している。

予算より多くの申請があり抽選で対象を決定したことから落選者は災害対策が出来ていない。増加した理由として近年の各地での災害をにより「あすは我が身」と防災意識が向上した点、貸与機種が人気の機種に変更となった点、人工呼吸器の対象機器が増えた点が想定される。予算確保においてはコロナ対策が優先されている。



貸与対象発電機の種類 (指定難病(成人)は”C”のみ)



A：発電機
(ガソリン式)
YAMAHA EF2500i



B：発電機
(プロパンガス)
Denyo GE-900P



C：発電機
(プロパンガス)
HONDA EU9iGP



D：ポータブル蓄電池
Jackery 1000



E：ポータブル蓄電池
EcoFlow EFDELTA

貸与事業の詳細
はこちらから→



患者会・当事者活動支援

目的

同じ病を抱え不安を抱えた患者・家族のよりどころとする患者会の設立を発起人および保健所と連携し支援してきた。自主運営が出来るまでの支援と自主運営後の広報・研修支援をすることで、不安を抱えている患者・家族を支える社会資源とし連携していく。

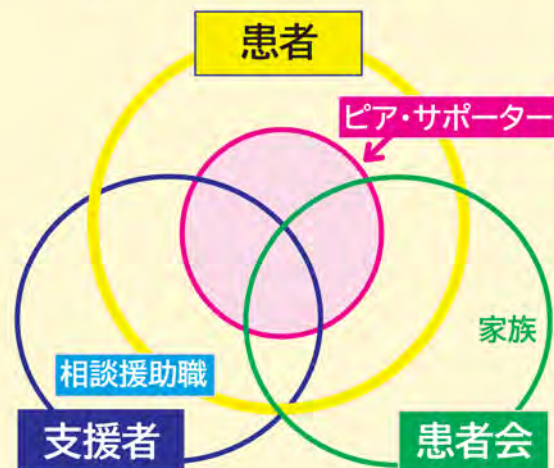
また、難病ピア・サポートとは、難病を抱えて生きる同じ立場の者同士の支え合いと位置づけ、同じ疾患の患者と出会う機会が少ない難病では、患者は孤立感を感じる事が多く、専門職による相談支援に加え、「共感」をキーワードとするピア・サポートは重要な役割を持っていることから、ピア・サポーター養成の実施と活動の支援をすることを目的とする。

背景

アンビシャス立上げ当時の患者団体は2団体のみと少なかった。自律した患者会の設立支援を保健所と連携し、発起人を募り設立まで支援を行い、現在は18団体までとなった。その後は新たな疾患の患者会として設立の要望は減少している。患者会という会則を定め会計監査まで設置する組織形態は重荷とし会費を徴収しない「交流会」として組織形態も生まれてきている。

役員の成り手がいないなど後継者問題やコロナ禍においては不安を感じる患者・家族が交流を求める場として役割を果たせていない。また、ITに不慣れの為か、オンライン交流会を開催している団体は少ない現状がある。

ピア・サポーターの位置づけ



(出典:平成26-27年度厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等克服研究事業(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業))研究「難病患者への支援体制に関する研究」用「難病相談支援センターの役割」に関する分析研究より抜粋一部改変)

県内患者会・交流会

患者会 11団体
交流会 7団体
(詳細は下記QRコードから参照)



全国膠原病友の会沖縄県支部の様子

例年通りの継続支援

- スケジュール等の周知支援 (会報誌・WEB・新聞)/毎月
- ヘルスケア関連団体学習会 (患者会リーダー向け学習会) VHO-net/オンライン開催2回
- 印刷支援・機器貸出など/随時



ヘルスケア関連団体ワークショップの様子

オンライン交流会

- ゆんたく会
オンライン開催: 8回
参加人数: のべ 36人

各疾患ごとの患者会とは別に、疾患に関係なく患者同士の交流会(ゆんたく会)を試験的にオンラインで実施中。他県の患者交流会に合流させてもらい、相互の活性化を図る。将来的に自助グループとして自主運営できる自律を目指す。

ピア・サポーター養成

- 養成(基礎)研修会
オンライン開催: 1~2月の5日間
参加人数: 9名



県内患者会の
詳細はこちらから



http://www.ambitious.or.jp/soudan/group_list/

■難病医療相談会

目的

アンビシャスで行う難病医療相談会は1組30分の時間を取り、事前に質問事項や病状を伺い、各難病専門医による詳しい説明が受けられる様にすることで、疾患について患者自身の理解を深め、今後の療養生活に役立てることを目的とする。また、医療機関が行うセカンドオピニオンではないため、アンビシャスでは「難病医療相談会」と表記し、無料で相談を受けている。

背景

通常の外来診療では十分に時間が取れず、自身の難病について納得のいく説明が聞き難いとの患者様の声が多く聞かれる。また、セカンドオピニオンで他の医師を受診する際には、医療保険対象外で2万円相当と負担額も大きく多くの方が受診に踏み出せない状況がある。各難病専門医の先生方にはご多忙の中、真摯にご協力をいただいている。

膠原病系疾患

新健幸クリニック 小禄 雅人 先生
2021年 9月 4日 相談者 3組



肝臓系疾患

琉球大学病院 前城 達次 先生
2021年10月 7日 相談者 1組



消化器系疾患
浦添総合病院
金城 福則 先生
(都合により中止)

下垂体系疾患

浦添総合病院 池間 朋己 先生
2022年 3月 5日 相談者 1組



神経系疾患

沖縄病院機構 渡嘉敷 崇 先生
2021年10月 8日 相談者 4組
2022年 3月11日 相談者 7組



腎臓系疾患
新健幸クリニック
小禄 雅人 先生
(都合により中止)

専門医による個別無料相談
相談時間 1組30分
今年度 延べ件数 16件
過去10年累計 109件(36回)

■メンタルヘルス講座

目的

難病という大きなストレスを抱えた状態でどう難病と付き合っていくのかを学び健やかに過ごせることを目的とする。

手法

ストレスが及ぼす心と身体への影響、病気のとらえ方、ストレス解消法、マインドフルネス瞑想法などを、公認心理師（臨床心理士）が事前・事後の心理テスト、講座、対話を通じ実践へと進めるようにする。



講義の様子

難病を持つ方のストレスとの付き合い方
～セルフコントロール～

講師

沖縄国際大学 教授
公認心理師 臨床心理士
上田 幸彦 先生

期 間：三か月コース
開催日：2022年1月15日（土）
2月19日（土）
3月19日（土）

参加者： 4名

過去6年累計：38名

詳細はこちらから



<http://www.ambitious.or.jp/about/kessan/2021/#kensyu>

難病情報周知啓発活動

目的

難病に関する正しい知識をもち療養にあたることができよう毎月会報誌を発行して難病情報を届ける。

背景

難病は希少な疾病のため身の回りに同じ病気を抱える人が少なく、情報収集をインターネットの検索に頼ることが多い。本来は病院から情報を得ることが大切であるが、短い診察時間では限界がある。どこの誰に相談したら良いのか分からないで孤立している方は少なくない。

活動内容

難病情報誌は、紙媒体での郵送を基本とし、視覚障害者向けとして音声版CD、メールマガジンでの同時発信としている。また、気軽に情報を得られることを目指し、利用者の多い公式LINEでの発信も実施。

難病患者の体験談、各種講演会等のイベント紹介、患者会で開催する定例会等の周知、保健所からのイベントなどの周知に加え、患者力の向上を目指す加藤眞三医師によるコーナー、心の悩みや不安解消を目指す公認心理師（臨床心理士）鎌田依里氏のコーナー、正しい服薬を目指す薬剤師会の吉田典子氏のコーナーをもうけている。



難病会報誌、相談会など
お役立ち情報をお届け♪

LINE公式
アカウント

スマホのQRコードを
スキャンしてください

スマホ画面のイメージ



会報誌の表紙

2021年度 227号～238号の表紙の方々
(バックナンバーは下記QRコードから)

227号
クライネ・レビン症候群



230号
パーキンソン病



233号
天疱瘡



236号
脊髄小脳変性症



228号
筋萎縮性側索硬化症



231号
筋萎縮性側索硬化症



234号
先天性血栓性血小板減少
性紫斑病



237号
後縦靭帯骨化症



229号
網膜色素変性症



232号
潰瘍性大腸炎



235号
筋萎縮性側索硬化症



238号
混合性結合組織病/SLE



会報誌一覧はこちらから



<http://www.ambitious.or.jp/magazine/>

機器無料レンタル事業（お試し用）

■コミュニケーション支援関連機器



アンビシャスでは難病により人工呼吸器を装着され、ご自身の声で想いが伝えられなくなった方々の支援の一つとして、コミュニケーション支援機器やその関連機器の無料レンタルを実施している。

コミュニケーション支援機器の購入を検討するにあたり、その機器が使用者本人の身体状況と適合しているか、その機器を操作するスイッチは何が最適なのか等を購入前に実機で試すことにより、納得のいく機器の選択をサポートすることを目的とする。

●意思伝達装置（本体）8種類 計12台



ファインチャット

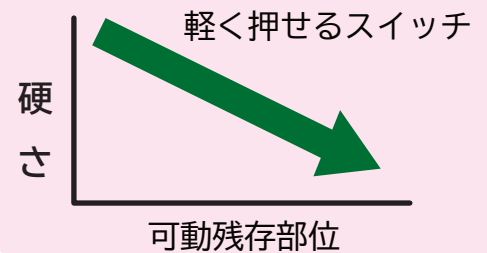


伝の心



視線入力装置

利用者疾患の進行に応じ、動作可能な身体部位にあったスイッチを速やかに適合する必要がある。



●意思伝達装置用（スイッチ）11種類



他オリジナルの
手作りスイッチ、
手作りチャイム数種類

2021年度レンタル件数 210件
2011-2021累計 1,053件

■その他福祉機器

低圧持続吸引機、足踏み吸引機、上肢支持アームMOMOなど



■ポータブル蓄電池

蓄電池 8種類 16台 ソーラーパネル 4種類 7台



これまでの貸出機器贈呈の団体及び支援者

米国福祉事業協会(AWWA)様、沖縄国際婦人クラブ(OIWC)様、那覇西ロータリークラブ様、他匿名(5名)様
クラウドファンディングによる「マイトビー」購入支援者様、田辺三菱製薬様、JackeryJapan様

皆さまのご支援でこのように貸出機器が充実し、
利用者の方々に大変喜んで頂いています。
誠にありがとうございます！

詳細はこちらから




<http://www.ambitious.or.jp/support/lending/>

2022年 4月2/日

特定非営利活動法人アンビシャス
理事長 迫 幸治 殿

特定非営利活動法人アンビシャス

監事 大塚 浩 印 

特定非営利活動法人アンビシャス 2021年度

監事は、特定非営利活動法人アンビシャスの2021年4月1日から 2022年3月31日までの2021年度における事業報告書及び活動 計算書及び貸借対照表を監査した結果、次のとおり報告いたします。

監査の方法及び概要

2021年度の会計帳簿及び領収書類などを閲覧し、必要事項について報告を受け監査を行いました。

活動計算書及び貸借対照表は、特定非営利活動法人アンビシャスの定義に従い、その財産及び収支の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

財務報告 活動計算書 Activity statement

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 アンビシャス

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	39,000	
賛助会員受取会費	1,893,000	1,932,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	8,146,984	8,146,984
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	124,360	
受取地方公共団体補助金	3,748,000	3,872,360
4. 事業収益		
相談事業収益	9,041,999	
就労支援事業収益	3,422,449	
広報事業収益	3,113,640	15,578,088
5. その他収益		
受取利息	109	
雑収益	628,876	628,985
経常収益計		30,158,417
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	10,718,927	
厚生費	1,840	
法定福利費	1,402,521	
人件費計	12,123,288	
(2) その他経費		
売上原価	199,580	
作業・就労支援	603,604	
報償費	175,419	
印刷製本費	1,007,688	
旅費交通費	213,477	
通信運搬費	1,586,773	
消耗品費	4,742,627	
修繕費	6,990	
減価償却費	312,348	
地代家賃	740,376	
水道光熱費	149,751	
賃借料	43,680	
保険料	1,000	
研修費	34,546	
接待交際費	8,911	
雑費	74,650	
その他経費計	9,901,420	
事業費計		22,024,708
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	3,270,334	
法定福利費	187,053	
福利厚生費	48,101	
人件費計	3,505,488	
(2) その他経費		
印刷製本費	25,491	
減価償却費	29,118	
地代家賃	109,092	
修繕費	1,909	
旅費交通費	58,728	
通信運搬費	157,959	
租税公課	215,293	
消耗品費	328,878	
諸謝金	485,000	
支払手数料	96,400	
雑費	97,973	
その他経費計	1,605,841	
管理費計		5,111,329
経常費用計		27,136,037
当期経常増減額		3,022,380
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		3,022,380
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000
当期正味財産増減額		2,952,380
前期繰越正味財産額		14,541,106
次期繰越正味財産額		17,493,486

財務報告 貸借対照表 Balance sheet

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 アンビシャス

科 目	金 額 (単位:円)	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金	12,561,018	
棚卸資産	150,100	
前払費用	73,000	
未収金	4,025,971	
未収還付法人税等	7	
流動資産合計		16,810,096
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品	72,279	
有形固定資産計	72,279	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア	16,474	
無形固定資産計	16,474	
(3)投資その他の資産		
投資有価証券	3,000,000	
投資その他の資産計	3,000,000	
固定資産合計		3,088,753
資産合計		19,898,849
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	408,883	
未払費用	1,209,536	
未払法人税等	70,000	
未払消費税等	347,200	
預り金	77,837	
カード未払金	291,907	
流動負債合計		2,405,363
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		2,405,363
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		14,541,106
当期正味財産増減額		2,952,380
正味財産合計		17,493,486
負債及び正味財産合計		19,898,849

「貸借対照表」資料をNPO法第28条アンビシャス 活動報告書の2第1項に公告に規定する公告を掲載しています。アンビシャスホームページでの掲載アドレスは以下の通り



<http://www.ambitious.or.jp/about/kessan/>

財務報告 財産目録 Property inventory

2021年4月1日から2022年3月31日まで

特定非営利活動法人 アンビシャス

科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
手元現金	27,596	
沖縄銀行普通預金	5,674,744	
沖縄海邦銀行普通預金	1,845,183	
沖縄海邦銀行普通預金	1,540,988	
沖縄海邦銀行普通預金	1,777,029	
ゆうちょ銀行振替口座	350,497	
ゆうちょ銀行通常貯金	964,599	
琉球銀行普通預金	335,242	
沖縄労働金庫普通預金	45,140	
棚卸資産		
販売用電源装置	37,560	
販売用指笛	112,540	
前払費用		
4月分家賃	55,000	
4月分駐車料金	18,000	
未収金		
地方公共団体委託金	3,899,000	
広告掲載収益	60,000	
未精算経費・事務委託料	40,170	
クレジットカード・コンビニ決済寄付	21,000	
指笛販売収益	5,800	
販売未収備忘価額	1	
未収還付法人税等		
当年度還付法人税等	7	
流動資産合計		16,810,096
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
什器備品		
貸与用備品	2	
事務所備品	72,277	
有形固定資産計	72,279	
(2)無形固定資産		
ソフトウェア		
ウェブサイト	16,474	
無形固定資産計	16,474	
(3)投資その他の資産		
投資有価証券		
(株)パートナー	3,000,000	
投資その他の資産計	3,000,000	
固定資産合計		3,088,753
資産合計		19,898,849
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金		
3月分後納郵便料	183,492	
3月分会報誌印刷料	82,500	
3月分メールサービス 他手数料	38,720	
3月分コピーカウンター料	10,480	
3月分消耗品代	44,049	
3月分税理士報酬	36,168	
3月分水道光熱費	13,474	
未払費用		
3月分給与	1,209,536	
未払法人税等		
当年度法人税等	70,000	
未払消費税等		
当年度消費税等	347,200	
預り金		
源泉所得税	74,018	
雇用保険料	3,819	
カード未払金		
3月分カード決済諸経費	291,907	
流動負債合計		2,405,363
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		2,405,363
正味財産		17,493,486

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NP0法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NP0法人 会計基準協議会）によっています。

1. 棚卸資産の評価方法
棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は最終仕入原価法によっています。
2. 固定資産の減価償却方法
定率法を採用しております。
3. 消費税の会計処理
消費税の会計処理は税抜方式を採用しております。

2. 事業費の内訳

事業費の区分は以下の通りです。

(単位：円)

科目	相談事業	就労支援事業	広報事業	合計
(1) 人件費				
給料手当	7,379,565	2,043,362	1,296,000	10,718,927
法廷福利費	936,583	248,600	217,338	1,402,521
福利厚生費	0	0	1,840	1,840
人件費計	8,316,148	2,291,962	1,515,178	12,123,288
(2) その他経費				
売上原価	173,000	26,580	0	199,580
作業・就労支援	0	0	603,604	603,604
報償費	93,411	0	591,450	175,419
印刷製本費	32,619	383,619	591,450	1,007,688
旅費交通費	180,228	4,881	28,368	213,477
通信運搬費	295,982	493,882	796,909	1,586,773
消耗品費	4,454,232	84,139	204,256	4,742,627
修繕費	6,990	0	0	6,990
減価償却費	93,054	21,614	197,680	312,348
値代家賃	687,276	53,100	0	740,376
水道光熱費	149,751	0	0	149,751
賃借料	43,680	0	0	43,680
保険料	0	1,000	0	1,000
研修費	34,546	0	0	34,546
接待交際費	0	0	8,911	8,911
雑費	68,000	0	6,650	74,650
その他経費計	6,312,769	1,068,815	2,519,836	9,901,420
合計	14,628,917	3,360,777	4,035,014	22,024,708

3. 用途等が制約された寄付等の内訳

用途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は17,493,486円ですが、そのうち用途が制約された財産はありません。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	登記減少額	期末残高	備考
沖縄県補助金		3,748,000	3,748,000		沖縄県難病患者人工呼吸器外部バッテリー等貸与事業の補助金 難病対策の一般向け周知事業 「難病の日」負担額 世界希少・難治性疾患の日 (RDD)公認開催助成金
難病患者サポート事業負担額		94,360	94,360		
RDD開催助成金		30,000	30,000		
合計	0	3,872,360	3,872,360	0	

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科目	機種取得価値	取得	減少	期末取得価値	減価償却累計費	期末帳簿価額
有形固定資産						
什器備品	3,093,248	0	2	3,093,246	△3,020,967	72,279
その他の有形固定資産	405,796	0	0	405,796	△405,796	0
無形固定資産	0					
ソフトウェア	988,400	0	0	988,400	△971,926	16,474
投資その他の資産	0					
投資有価証券	3,000,000	0	0	3,000,000		3,000,000
合計	7,487,444	0	2	7,487,442	4,398,689	3,088,753

5. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位：円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(活動計算書)			
受取寄付金	8,146,984	0	3,000,000
広報事業収益	3,113,640	0	2,381,816
給与手当(事業費)	10,718,927	4,543,200	0
活動計算書 計	21,979,551	4,543,200	5,381,816

2021年度 寄付金一覧 DONATION LIST

2021年4月1日～2022年3月31日

特定非営利活動法人 アンビシャス

NO	月	日	お名前	金額(円)
1	4	4	匿名	3,000
2	4	5	匿名	3,000
3	4	6	匿名	3,000
4	4	12	匿名	2,000
5	4	17	長濱眼科	3,000
6	4	20	匿名	3,000
7	4	21	匿名	1,000
8	4	21	株式会社 かね屋	1,000
9	4	23	驥尾の会 (4月分)	5,500
10	5	1	イオン琉球株式会社 (ギフトカード)	168,600
11	5	4	匿名	3,000
12	5	14	匿名	2,000
13	5	17	長濱眼科	3,000
14	5	21	匿名	1,000
15	5	21	株式会社 かね屋	1,000
16	5	16	驥尾の会 (5月分)	5,500
17	6	13	渡嘉敷 洋美	3,000
18	6	17	有限会社 麦飯石の水	9,243
19	6	17	長濱眼科	3,000
20	6	18	古謝 ヒナ子	5,000
21	6	21	匿名	1,000
22	6	21	株式会社 かね屋	1,000
23	6	24	照喜名 通 (物品：はがき)	150
24	6	24	匿名	3,000
25	6	25	驥尾の会 (6月分)	5,500
26	6	27	匿名	3,000
27	7	1	岸本 隆一	100,000
28	7	2	岡崎 豊	10,000
29	7	4	匿名	3,000
30	7	6	匿名	2,000
31	7	8	渡部 純夫	10,000
32	7	16	有限会社 麦飯石の水	24,284
33	7	17	長濱眼科	3,000
34	7	21	株式会社 かね屋	1,000
35	7	21	株式会社 いなんせ典礼	120,000
36	7	23	驥尾の会 (7月分)	5,500
37	7	26	株式会社サンシャイン	80,000
38	7	26	匿名	2,000
39	7	28	医療法人 麻の会	30,000
40	8	2	有限会社 セイアン	20,000
41	8	4	匿名	3,000
42	8	6	名城 トミ子	1,500,000
43	8	8	匿名	3,000
44	8	10	赤嶺 典子	10,000
45	8	10	赤嶺 竹哉	5,000
46	8	16	ピュアペットクリニック 野中 哲	100,000
47	8	16	匿名	50,000
48	8	17	長濱眼科	3,000
49	8	23	匿名	1,000
50	8	23	株式会社 かね屋	1,000

NO	月	日	お名前	金額(円)
51	8	24	富名腰 義裕	5,000
52	8	30	驥尾の会 (8月分)	5,500
53	9	1	てだこボウル	9,116
54	9	1	有限会社 麦飯石の水	55,303
55	9	2	匿名	10,000
56	9	4	匿名	3,000
57	9	7	匿名 (物品：切手・はがき)	2,112
58	9	7	宮城 嗣名	10,000
59	9	7	匿名	1,000
60	9	8	匿名	2,000
61	9	17	長濱眼科	3,000
62	9	21	匿名	1,000
63	9	21	株式会社 かね屋	1,000
64	9	24	米国福祉事業協会 (AWWA)	1,500,000
65	9	27	驥尾の会 (9月分)	5,500
66	9	27	三和金属株式会社	100,000
67	9	28	メキシコ雑貨tope	12,680
68	9	30	匿名	904
69	10	4	有限会社 麦飯石の水	22,322
70	10	4	匿名	3,000
71	10	6	匿名	6,502
72	10	12	匿名	5,000
73	10	12	匿名	2,000
74	10	13	砂川 信雄	10,000
75	10	17	長濱眼科	3,000
76	10	19	渡部 純夫	10,000
77	10	21	饒平名 辰三	1,000
78	10	21	株式会社 かね屋	1,000
79	10	22	株式会社メガネ一番	242,047
80	10	22	驥尾の会 (10月分)	5,500
81	10	29	全保連株式会社	3,000,000
82	11	2	松堂 修	10,000
83	11	4	匿名	3,000
84	11	11	大森 秀孝	5,000
85	11	17	長濱眼科	3,000
86	11	18	桃原 健二	3,000
87	11	22	匿名	1,000
88	11	22	株式会社 かね屋	1,000
89	11	26	驥尾の会 (11月分)	5,500
90	11	30	つながる募金	2
91	12	4	匿名	3,000
92	12	8	匿名	3,000
93	12	8	株式会社 照正組	3,914
94	12	13	渡部 純夫	10,000
95	12	16	匿名	2,000
96	12	17	長濱眼科	3,000
97	12	18	打田 寛臣	3,000
98	12	20	匿名	3,000
99	12	21	首里キャッスルライオンズクラブ	50,000
100	12	21	匿名	1,000

日付順に掲載※敬称は省略させていただきます。※お名前の開示は承諾を得ています。

【小計】 7,481,179

2021年度 寄付金一覧 DONATION LIST

NO	月	日	お名前	金額(円)
101	12	21	株式会社 かね屋	1,000
102	12	23	サンクス	3,060
103	12	24	オリオンビール株式会社	36,941
104	12	26	新垣 俊彦	3,000
105	12	27	驥尾の会 (12月分)	5,500
106	12	27	匿名	3,390
107	12	28	沖縄トヨペット株式会社	100,003
108	12	29	西崎オートサービス	3,800
109	1	4	匿名	3,000
110	1	4	匿名	3,000
111	1	6	伊藤 浩二	30,000
112	1	11	匿名	2,000
113	1	12	有限会社 麦飯石の水	92,611
114	1	17	大森 秀孝	3,000
115	1	17	長濱眼科	3,000
116	1	21	匿名	1,000
117	1	21	株式会社 かね屋	1,000
118	1	24	株式会社サンシャイン	100,000
119	1	31	驥尾の会 (1月分)	5,500
120	2	3	匿名	4,000
121	2	3	匿名	3,000
122	2	9	橋本 操	5,000
123	2	17	長濱眼科	3,000
124	2	21	匿名	1,000
125	2	21	株式会社 かね屋	1,000
126	2	28	驥尾の会 (2月分)	5,500
127	2	28	匿名	3,000
128	3	1	公益社団法人全日本不動産協会 沖縄県本部	100,000
129	3	4	匿名	3,000
130	3	4	匿名	2,000
131	3	14	匿名	4,000
132	3	17	長濱眼科	3,000
133	3	22	株式会社鹿児島銀行	100,000
134	3	22	宮城 嗣名	10,000
135	3	22	匿名	1,000
136	3	22	株式会社 かね屋	1,000
137	3	24	匿名	5,000
138	3	25	喜納 玲子	5,000
139	3	29	驥尾の会 (3月分)	5,500

【小計】 665,805

2021年度寄付金総額： 8,146,984円/139件

これまでご寄付して頂いた履歴は下記から参照できます

<http://www.ambitious.or.jp/contribution/current-year/>



イオン琉球株式会社 幸せの黄色いレシート贈呈式



メガネ一番様 贈呈式



沖縄トヨペット株式会社様 贈呈式



公益社団法人全日本不動産協会沖縄県本部様 贈呈式

2021年度 法人賛助会員 SUPPORTING MEMBERS

法人賛助会員年会費:10,000円/年

法人賛助会員数:132法人

NO	法人名 (あいうえお順) 敬称略
1	訪問看護ステーション happiness
2	(株) K. Turtles
3	(同) ONE live
4	(株) アイアム
5	愛聖クリニック
6	(株) アクティブ
7	(資) 新垣自動車工業
8	伊江島不動産
9	いくみ皮膚科クリニック
10	伊佐内科クリニック
11	いちよう内科あしとみ
12	(有) いっきゅう商事
13	稲福内科医院
14	(株) いなんせ典礼
15	訪問看護ステーション いやしの邦
16	浦添さかい眼科
17	嬉野が丘サマリヤ人病院
18	訪問看護ステーションステーションうんな
19	エクスポア訪問看護ステーション
20	訪問看護ステーション 縁
21	おおいし医院
22	岡野法律事務所
23	沖映通り眼科
24	(社) 沖縄県栄養士会
25	沖縄県農業協同組合
26	沖縄トヨベット(株)
27	(株) 沖縄ネット不動産
28	沖縄病院
29	沖縄メディカル訪問看護ステーション
30	(株) 興ハウジング
31	(株) 興建設
32	訪問看護ステーション おもととよみの杜
33	おもと会 統括リハビリテーション部
34	(有) 沖縄矢崎販売
35	オリオンビール(株)
36	恩納クリニック
37	神谷医院
38	かりまた内科医院
39	(株) 上咲組
40	(株) ケアコネク
41	(株) 国建
42	(株) クオサ
43	くすみ薬局
44	(株) ケイオーパートナーズ
45	玄米クリニック
46	こころクリニック
47	訪問看護ステーション こころのかて
48	コザクリニック
49	こぼし内科クリニック
50	こもれ陽訪問看護ステーション
51	サザン歯科まえた
52	(株) ざまみダンボール
53	さわやか歯科クリニック
54	サンクス
55	じのん整形外科クリニック
56	下地第2脳神経外科
57	(株) 住宅管理コンサルタント
58	しゅくみね内科
59	首里城下町クリニック第一
60	首里城下町クリニック第二
61	(株) 舜
62	城間クリニック
63	しんざと内科
64	(有) 新地開発
65	(有) スタプランニング
66	潮平病院

NO	法人名 (あいうえお順) 敬称略
67	すながわ内科クリニック
68	全保連(株)
69	空と海とクリニック
70	太陽印刷
71	(株) 大央ハウジング
72	(株) 大成ホーム
73	大和商工(株)
74	(有) タカラ
75	高良登記測量事務所
76	たつや脳神経外科
77	訪問看護ステーションちゅらぐる
78	(株) 長堂材木店
79	中部協同病院
80	中部地区医師会 訪問看護ステーション
81	(有) ディー・ランド
82	(有) ティダエステート
83	(株) テルソウ
84	テルモ(株) 沖縄支店
85	(株) ドウ・オキナワ
86	なかむら内科おなかクリニック
87	仲本病院
88	(株) 名城
89	那覇かなぐすく皮膚科
90	南西医療器(株)
91	南部徳洲会病院
92	(有) 仁開商事
93	日本交通(株)
94	ねたて内科クリニック
95	(株) ハート住宅
96	ハートライフ病院
97	ハーモニー薬局 寄宮店
98	はいさいクリニック
99	はびねず訪問看護ステーション
100	訪問看護ステーションはっぴー
101	光クリニック
102	比嘉歯科医院
103	(有) 麦飯石の水
104	訪問看護ステーション ぷくじ
105	ふたば訪問看護ステーション
106	(有) プログレス
107	(株) ホープネクスト
108	(株) ホープ住宅
109	(株) ホカマ
110	(有) 北辰ハウジング
111	北部皮膚科クリニック
112	外間眼科医院崇元寺
113	前田胃腸科医院
114	牧港眼科
115	又吉内科クリニック
116	まつおTCクリニック
117	松城クリニック
118	松本歯科クリニック
119	まみ皮膚科クリニック
120	(株) まる不動産
121	訪問看護ステーションみかん
122	嶺井第一病院
123	みやぐに皮膚科
124	(有) 名桜不動産
125	(株) メガネ一番
126	聖隷訪問看護ステーションゆい
127	ゆずりは訪問診療所
128	ライフホームズ(株)
129	琉球ダイハツ販売(株)
130	(株) 琉行
131	りんご調剤薬局 浦西店
132	ワンストラスト(株)

2021年度 個人賛助会員 SUPPORTING MEMBERS

個人賛助会員年会費:3,000円/年

個人賛助会員数:191名

NO	お名前 (あいうえお順)	敬称略
1	赤嶺 典子	
2	天久 佑希子	
3	井藤 善夫	
4	新垣 恵子	
5	浦崎 康成	
6	打田 寛臣	
7	大城 逸子	
8	大城 薫	
9	嘉陽 芳子	
10	川口 美怜	
11	岸本 綾乃	
12	岸本 克守	
13	岸本 克巳	
14	岸本 時江	
15	岸本 智子	
16	近藤 力	
17	金城 光子	
18	金城 福則	
19	具志堅 満昭	
20	久保田 淑子	
21	黒木 恵子	
22	塩川 徹	
23	志慶眞 八重	
24	島袋 恵	
25	下地 ヒロ子	
26	新城 健一	
27	砂川 竹子	
28	崎浜 里江子	
29	花城 廣	
30	宮城 ハツ子	
31	宮城 ふじみ	
32	宮城 義正	
33	宮里 幸枝	
34	宮里 政也	
35	澤紙 義英	
36	玉城 つね子	
37	高橋 政子	
38	高良 朋子	
39	田里 秀美	
40	知花 なおみ	
41	知花 智	
42	知念 江利美	
43	知念 俊雄	
44	照屋 兼一	
45	照屋 幸子	
46	照喜名 久枝	
47	友利 潤子	
48	豊川 喜世子	
49	津覇 直也	
50	當間 由美子	

	お名前 (あいうえお順)	敬称略
51	仲間 丈晴	
52	仲宗根 清美	
53	仲村 けい子	
54	仲村 みどり	
55	仲村 明	
56	新田 幸子	
57	西平 正子	
58	根間 陵彰	
59	萩原 祥禎	
60	東 与一	
61	比嘉 佑一郎	
62	日野 成子	
63	藤江 光子	
64	富名腰 一郎	
65	富名腰 義裕	
66	譜久村 良三	
67	武藤 徹太郎	
68	松尾 日出輝	
69	前田 真顕	
70	前嶋 裕子	
71	前里 清子	
72	山城 ちあき	
73	屋良 幸助	
74	吉田 晋介	
75~191 匿名希望		

2021年賛助会員合計：323会員

アンビシャスを継続的に応援して頂ける方は賛助会員になって頂きたいです。

また、認定NPOの更新基準を満たすためにも、一定数以上の賛助会員が条件となります。寄付控除を得るためにも安定した賛助会員が必要となっています。

皆様のご協力を賜りたくお願い申し上げます。

賛助会員申込はこちらから



http://www.ambitious.or.jp/contribution/supporting_member/

募金箱設置協力店 DONATION BOX INSTALLATION

順不同 敬称略

フォーモストブルーシール北谷店	沖縄トヨペット株式会社港川店
M I S T Y本店	沖縄トヨペット株式会社中部店
T. T BOWL てだこ	トヨタウンシーサイド店
西崎オートサービス	山城二輪
マリンショップぶくぶく	社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部
串焼き屋あだん	全保連株式会社
ホテルまるき	全保連コントロールセンター
水のサンクス	シャトル・ケア
株式会社琉薬	有限会社だいにちシール
恒和ペイント株式会社	オリオンビール株式会社
さわやか歯科クリニック	株式会社かりさら
auショップ久茂地店	上間菓子店
沖縄県栄養士会	H A I R & M A K E E A R T H 沖縄新都心店
T-SHIRT-YA.COM国際通り店	2 D A T O P (ツダトップ) ダンススタジオ
T-SHIRT-YA.COM北谷店	株式会社いなんせ典礼
カラカラとちぶぐわ〜	照正組
ジョッキハウス	株式会社 K. T u r t l e s
しゃしんやきんちゃんDigi-pit店	ひめゆり歯科医院
日本交通株式会社	メガネ一番 各店 (21店舗)
有限会社 F E C オフィス	麦飯石の水 各店 (22店舗)

募金箱の設置ご協力の皆様！

計 81店舗

ご来店のお客様及びスタッフの皆様
ご支援に深く御礼を申し上げます。



謝辞 ACKNOWLEDGMENTS

2021年度、アンビシャスは 814万円余りのご寄付をいただきました。

また賛助会員323件（個人191名、法人132団体）と多くの方々に会員としてアンビシャスの活動を継続して支えていただいています。

コロナ禍の厳しい経済状況にもかかわらず、この様に多くの皆様の心温まるご支援により難病の方々へ難病情報誌の提供や、医療講演会等の支援活動を行うことが出来ました。

皆様のご支援に改めて厚く御礼を申し上げます。

会報誌広告掲載（順不同） 敬称略

全保連株式会社
土地家屋調査士 伊波 学
株式会社クオサ
沖縄トヨペット株式会社
首里城下町クリニック
大塚製薬株式会社
琉球ゴールデンキングス

ホームページ協賛広告（順不同）敬称略

アステラス製薬株式会社
全保連株式会社
岡野法律事務所
ファイザー株式会社

研修会支援(交通費等支援)(順不同)敬称略

なし

5万円以上寄付者（日付順） 敬称略

イオン琉球株式会社（ギフトカード）
岸本 隆一
株式会社 いなんせ典礼
株式会社サンシャイン
名城 トミ子
ピュアペットクリニック 野中 哲
匿名
有限会社 麦飯石の水

米国福祉事業協会（AWWA）
三和金属株式会社
株式会社メガネ一番
全保連株式会社
首里キャスルライオンズクラブ
沖縄トヨペット株式会社
公益社団法人全日本不動産協会沖縄県本部
株式会社鹿児島銀行

誌面で入りきれない数多くの皆様に感謝申し上げます。

アンビシャスの変遷 TRANSITION

年号	主な出来事	受給者数 沖縄県 (件)
平成13年 2001年	・ 膠原病友の会代表らと難病センター構想決意7月4日 ・ 法人化に向けて設立総会（中央保健所にて）10月28日 迫幸治理事長就任	
平成14年 2002年	・ アンビシャスNPO法人化（2月14日） ・ 会報誌では会の意味や病名の紹介・患者会数：2団体	4,201
平成15年 2003年	・ 全国難病センター研究会に参加 ・ 匿名希望の体験談、会報誌掲載開始	4,892
平成16年 2004年	・ 同病の人との交流を求め会報誌体験談、顔出し開始 ・ 会報誌ポエム開始	5,007
平成17年 2005年	・ 県から難病相談・支援センター委託事業開始 ・ 難病シンポジウム開催・沖縄指笛発売	5,256
平成18年 2006年	・ パーキンソン病・潰瘍性大腸炎問題 ・ もやの会（もやもや病）発足・会報誌小嘶コーナー開始（ALS患者寄稿）	5,584
平成19年 2007年	・ FOP（進行性骨化性線維異形成症）が難病医療費助成対象に追加される ・ うちなー紀聞テレビ放送（RBC）・看護学生在宅研修受け入れ ・ VHO-net沖縄学習会開始・千羽鶴ボランティア開始	5,951
平成20年 2008年	・ 日本ALS協会沖縄県支部設立 ・ 会報誌音声版開始／ポッドキャスト配信 ・ 照喜名通が沖縄コロニー大賞受賞・就業支援モデル事業受託	6,360
平成21年 2009年	・ 難病雇用助成金開始 ・ 国税庁から沖縄県で初の「認定NPO法人」として認められる	6,700
平成22年 2010年	・ 会報誌メールマガジン配信開始 ・ 祝会報誌100号	6,967
平成23年 2011年	・ 総務省委託えんぼと（遠隔医療支援システム）スタート ・ 筋無力症友の会 沖縄県支部設立	7,479
平成24年 2012年	・ 2月14日法人設立 満10周年・患者会数：13団体 ・ 日本網膜色素変性症協会沖縄支部設立	7,978
平成25年 2013年	・ 難病が障害範囲枠に追加される ・ 災害時電源確保・県委託事業（発電機設置等）	8,371
平成26年 2014年	・ 難病法可決成立、医療費助成110疾患から平成27年1月1日開始 ・ 米国婦人福祉協会AWWAの寄付金で会報誌表紙がカラー印刷化	8,703
平成27年 2015年	・ 平成27年7月には、306疾患が医療費助成対象となる。 障害者総合支援法で難病対象332疾患も連動して追加となる。 ・ クラウドファンディングで多数の支援を得て、視線入力装置を購入	9,812
平成28年 2016年	・ ハローワークの難病患者就職サポーターが出張相談会実施開始 ・ QRコードを活用した災害時情報共有（えんぼと）を開始。 ・ メンタルヘルス（マインドフルネス瞑想法等）の学習会開催。	10,496
平成29年 2017年	・ ホームページをスマホ用にも対応でリニューアル ・ 3年間の経過措置切れる／指定難病の対象疾患が330疾患に	10,184
平成30年 2018年	・ 在宅就労支援として沖縄指笛の製造販売を再開 ・ ALSの人工呼吸器装着状況や療養場所等の調査を開始	10,318
令和元年 2019年	・ 在宅就労支援の強化として、クラウドファンディング実施 ・ 指定難病の対象疾患が333疾患に／新型コロナ流行でイベント縮小	10,333
令和2年 2020年	・ 医療的ケア者（児）の非常時電源確保講演等（田辺三菱製薬助成金） ・ 難病相談支援センター九州ブロック会議開始 ・ 沖縄指笛が沖縄県優良県産品「その他部門」最優秀優良県産品認定 ・ 那覇市ふるさと納税で沖縄指笛の提供開始	10,711
令和3年 2021年	・ 小児慢性特定疾病等自立支援事業開始（沖縄県・那覇市） ・ 公式LINE開始 ・ 指定難病対象疾患数が338疾患に／小児慢性特定疾病対象疾患数788疾患	
	—	

アンビシャスの概要 OVERVIEW

法人の種類	認定特定非営利活動法人
団体名(法人名称)	認定NPO法人アンビシャス
団体名ふりがな	にんてい えぬびいおうほうじん あんびしゃす
法人登記名	特定非営利活動法人アンビシャス
団体の概要	主に難病患者や家族に対し、療養や日常生活での悩み不安等の相談をうけ、その解消を図るために、患者力の向上や関係機関との連携や、情報提供・講演会・研修会を行うことで、より質の高い生活を過ごせることを目的とします。
代表者	理事長 迫 幸治 (さこ ゆきはる)
所在地	〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29グレイスハイム喜納2-1階
代表メールアドレス	info@ambitious.or.jp
電話番号	098-951-0567
FAX	098-951-0565
連絡可能時間	10時00分～17時00分
連絡可能曜日	月～金(年末年始・公休日を除く)
団体ホームページ	http://www.ambitious.or.jp
任意設立年月日	2001年 7月 4日
設立総会	2001年10月28日
法人格取得年月日	2002年 2月14日
認定NPO有効期間	2014年12月01日から 2024年11月30日まで 内閣府NPOサイト https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/certification/list/047
法人番号	3360005000774
役員数・職員数合計	理事9名、職員6名、会員：正会員13名、賛助会員323名(法人含む) 2022年3月末現在
所轄官庁	NPO所轄：沖縄県 子ども生活福祉部 消費・暮らし安全課
委託事業	委託事業所轄：沖縄県 保健医療部 地域保健課、那覇市
第三者評価	CANPANプロジェクトは、日本財団および特定非営利活動法人CANPANセンターによる、市民、NPO、企業などの活動を支援し、連携を促進することで、民間主体のより豊かな社会づくりに貢献することを目指すソーシャルプロジェクトです。 情報開示レベル★★★★★(満点の5つ星です) http://fields.canpan.info/organization/detail/1352917999
内閣府開示	内閣府NPOホームページ 同サイトでは、全国の法人NPOを紹介しています。当団体は下記参照 https://www.npo-homepage.go.jp/npoportal/detail/047013042

理事

Board Members

2022年3月末現在

理事長

President

迫 幸治

Yukiharu Sako

副理事長

Vice President

照喜名 通

Toru Terukina

仲嶺 朋広

Tomohiro Nakamine

上原 実

Minoru Uehara

岡野 浩巳

Hiroshi Okano

與那城 圭

Kei Yonashiro

田名 毅

Takeshi Tana

小阪 亘

Wataru Kosaka

比嘉 晶子

Akiko Higa

監事

Controller

大城 浩

Hiroshi Ooshiro

事務局長

General Director

仲村 明

Akira Nakamura

アンビシャスの最新活動

読み込まない方を
隠してスキャン↓



Facebook @ambitious.npo



公式LINE @563aheli



活動にご支援ください

アンビシャスの活動は、皆様からの寄付で実現しています。
私達とともに、難病の方を救う力となってください。

寄付のお申し込み・資料請求は

電話 098-951-0567 (10:00-17:00平日)

www.ambitious.or.jp

アンビシャスは「認定NPO法人」として所轄庁の認定を受けています。
アンビシャスへの寄付は、所得税、法人税の税制優遇措置(寄付金控除)
の対象となっています。優遇措置を受けるためには申告が必要です。